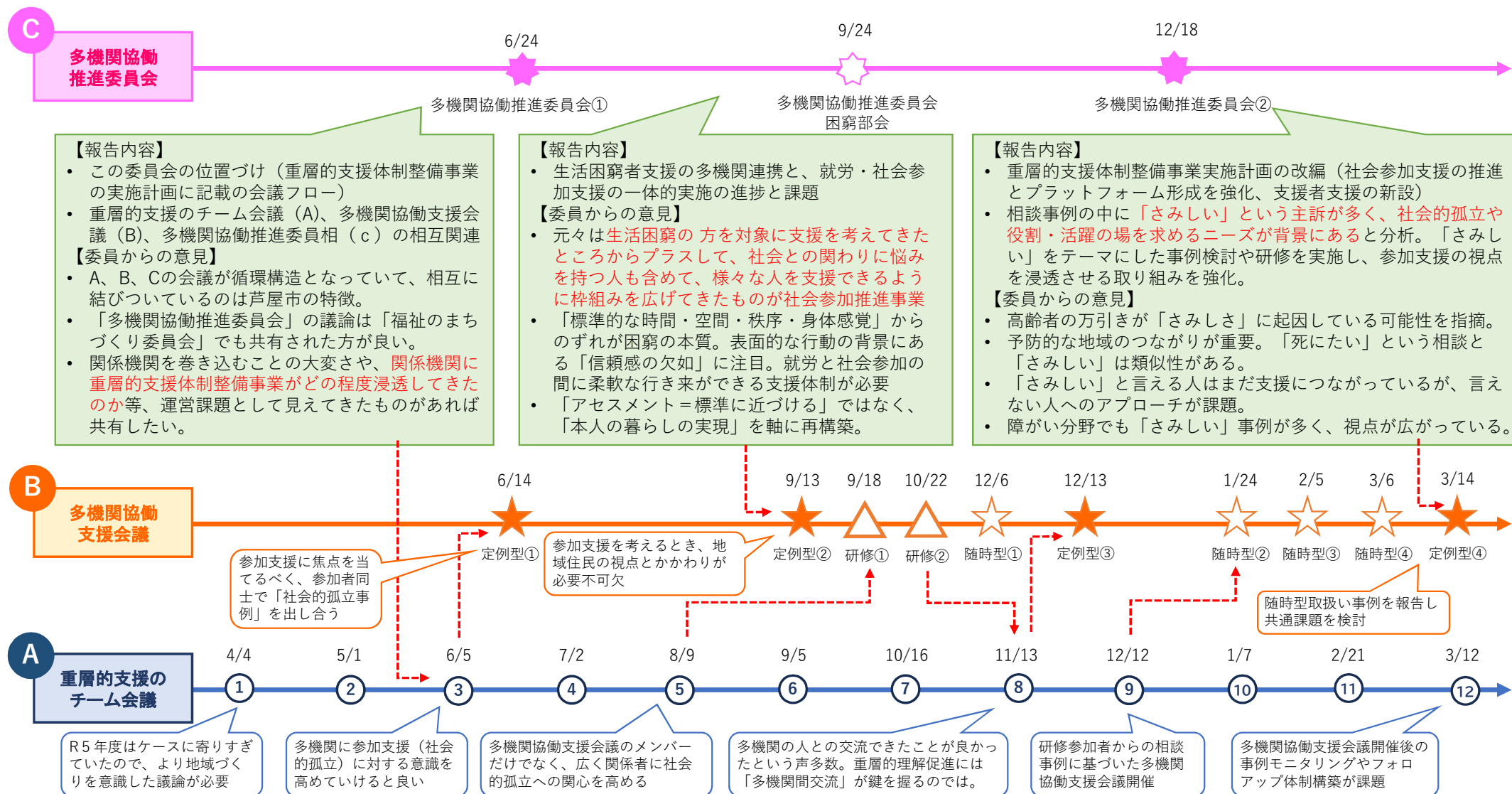


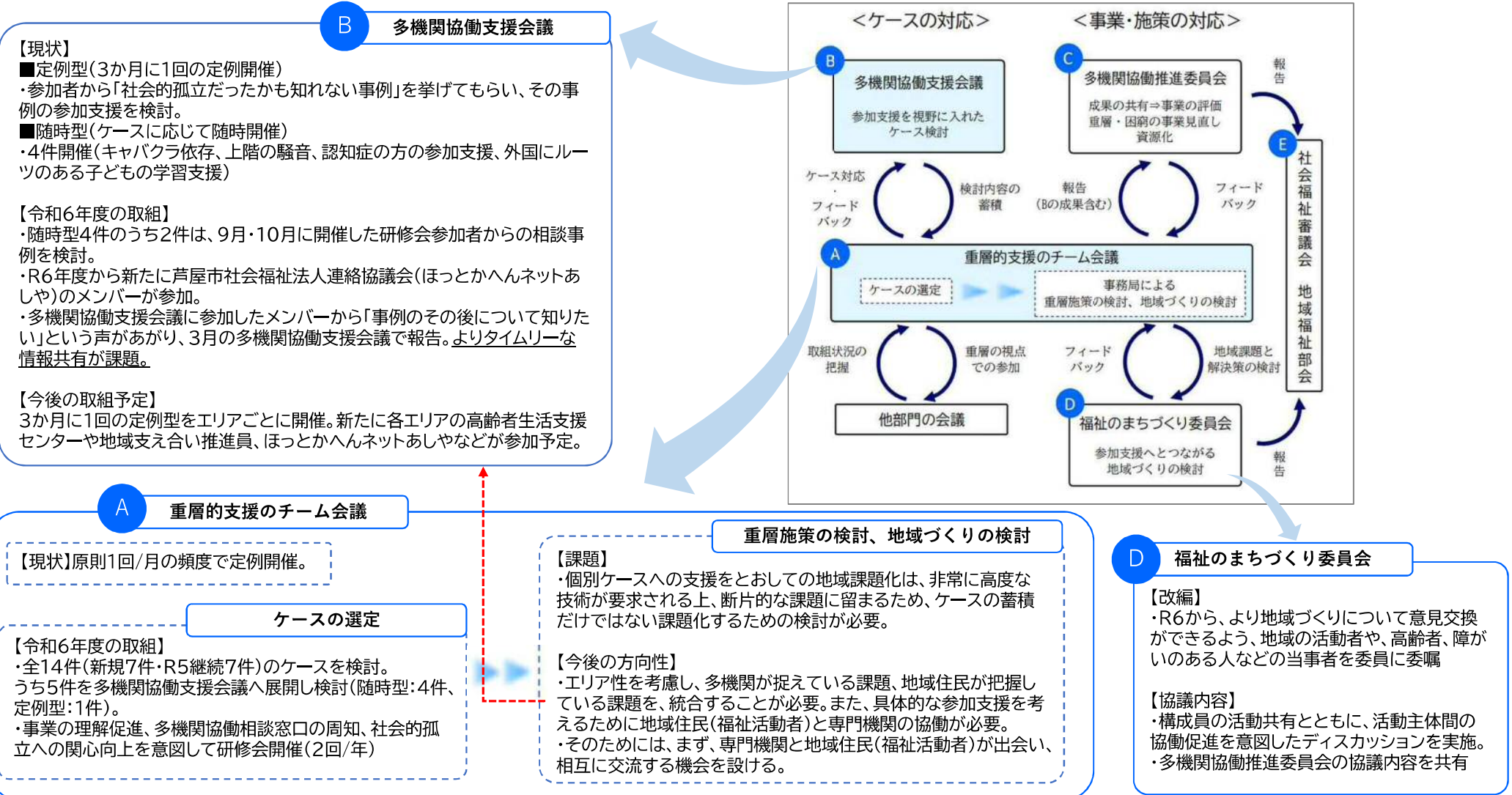
多機関協働推進委員会の位置付け < 芦屋市重層的支援体制整備事業 令和6年度の実践プロセス分析資料 >



令和6年度の各会議体での取組と課題

※芦屋市重層的支援体制整備事業実施計画 P.4
【図2-1 ケースから施策の検討を進める各種会議体の機能】

事前資料1-2



令和7年1月～5月までの取組ダイジェスト

※令和6年度第2回多機関協働推進委員会のその後～現在まで

当日資料1-3

多機関協働
と参加支援
の推進

多機関協働による
参加支援の意識の広がり
↓
社会参加の場はどうなっ
ているんだろう？

重層研修「春の重層まつり」

包括的相談支援
多機関協働



重層の基本理解と顔の見える関係づくり

- ・関係機関、行政あわせて53名が参加
- ・新年度の研修ということもあり、①基本的な理念や改定後実施計画の説明、②多機関協働支援会議での検討事例の紹介、③芦屋市の包括的な支援体制構築に向けた取組をマンダラチャートでアイデア出し。

【成果】

- ・重層の理解(何をめざして、どんなことに取り組み、どんな手応えがあったのか、自分の業務にどうかかわるのか)
- ・多機関協働相談窓口の周知(どんなケースの相談ができるのか、どこに相談すればいいのか)
- ・多機関協働の必要性の理解や顔の見える関係づくり(「つながり」「連携」というワードが出た)

➡参加者も多く、年度初めに理念理解+関係づくりもできるので、来年度以降も4月に実施(固定)することを決定



地域づくり支援

多機関協働支援会議(3/14定例型)

制度福祉では届かない「さみしさ」(参加支援) に取り組んできた1年を振り返り

・トークテーマ:多機関協働支援会議は何をもたらしたか？

【成果】

- ・社会参加や地域づくりの視点で、制度にこだわらず本人の生活を中心に支援を考えられるようになった。
- ・多機関協働の必要性の理解や顔の見える関係づくりにつながった。

社会参加推進事業のレシピ化(4月～6月)

個別支援重視から参加支援重視への プロセスをたどる

- ・一体的に実施している「重層の社会参加推進事業」と「生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業」の評価に向け、一体的実施を料理に例えレシピを作成。
- ・料理の材料、料理のコツ、その背景を試行錯誤し、4つのレシピを作成予定。レシピ作成を通して、事業を振り返ることで、評価につなげていく。